

2016 動物感謝デー in JAPAN “World Veterinary Day” 開催される

平成 28 年 11 月 12 日、西日本総合展示場及びあさの汐風公園（福岡県北九州市小倉北区）において、「2016 動物感謝デー in JAPAN “World Veterinary Day”」が、日本獣医師会の活動方針である「動物と人の健康はひとつ。そして、それは地球の願い。」をテーマとして、概算延べ 24,000 名の来場者を得て盛大に開催された。

本行事は、動物の診療だけではなく人の健康にも深くかかわるさまざまな仕事に取り組む獣医師の役割とともに、動物たちが担う社会役割の多様性を広く一般に普及して理解を促進することにより、動物愛護思想の普及・啓発、人と動物が共存して生きる豊かな社会の実現に寄与することを目的に日本獣医師会が公益事業として開催している。本年は、本会主催、北九州市共催、関係省庁・獣医師関係団体等の後援、関連企業等の協賛、地方獣医師会をはじめ関連団体、獣医学系大学等の協力のもと、獣医師への理解を深めてもらうよう多数の催し物を企画し、獣医学系大学の学生、動物看護学生、動物飼育者等をはじめ、多数の一般市民に来場いただいた。

特に 10 回目の開催となる今回は、開催に先立つ 11 月 10 日、11 日に、隣接会場にて「第 2 回 世界獣医師会 - 世界医師会 “One Health” に関する国際会議」が開催されたことから、関連行事として福岡県及び北九州市の全面支援の下での開催となった。当日は同一会場で北九州市動物愛護推進協議会主催の「北九州どうぶつ愛護フェスティバル」、福岡県主催の「人と動物の共通感染症シンポジウム」が合同開催され、さながら獣医師と動物たちの一大祭典の趣であった。

開会式では、本会蔵内勇夫会長から、「本日は、開催にご協力いただいた小川 洋福岡県知事、北橋健治北九州市長、自由民主党獣医師問題議員連盟の麻生太郎会長、森 英介幹事長の名代として大家敏志参議院議員、公明党獣医師問題議員懇話会の斉藤鉄夫会長の名代として秋野公造参議院議員、三原朝彦衆議院議員、さらに福岡県議会の中尾正幸議長はじめ多くの県議会議員の皆さま、北九州市議会の戸町武弘議長はじめ多くの市議会議員の皆さま、そして、ご後援・ご協力をいただいた省庁はじめたくさんのご来賓をお迎えしております。一昨日と昨日に開催された「第 2 回 世界獣医師会 - 世界医師会 “One Health” に関する国際会議」にご出席いただいた世界獣医師会ジョンソン・チャン次期会長にも、日本での滞在を延長してご臨席をいただきました。皆さまに心から感謝申し上げます。

動物感謝デーは、獣医師の幅広い職域における活躍を紹介するとともに、人と動物が共存する豊かな社会の構築を目指す日本獣医師会の普及啓発行事です。この行事は、2007 年からこれまで 9 回にわたり東京都の駒沢公園で開催してまいりましたが、今年は、ここ福岡県北九州の地に会場を移し、北九州市との共催により、「北九州どうぶつ愛護フェスティバル」、福岡県の主催する「人と動物の共通感染症シンポジウム」と同時開催する大規模なイベントとなりました。ご支援をいただいた福岡県、北九州市の関係者の皆さまには、心から感謝申し上げます。

一昨日と昨日の国際会議は、医師会と獣医師会の共同主催で開催し、専門的な情報交換を行いました。今日は県民並びに市民の皆さまにご参加いただいて、獣医師を交えて動物との触れ合いを楽しんでいただくためのイベントであります。

獣医師の職域は、犬や猫、牛や豚など動物の診療だけではなく、とても幅広いものですが、国民の皆さまにはあまり知られていません。世界獣医師会では、「世界獣医師の日」“World Veterinary Day” というイベントを開催し、獣医師の活動の広報を行っています。本日の動物感謝デーは日本版の“World Veterinary Day”でもあります。

ご来場の皆さまには、今日一日、十分に動物たちと触れ合いを楽しんでいただき、動物と人の健康のために活躍する獣医師のことを知っていただければ、獣医師会としてこれほどうれしいことはありません。本日は、動物感謝デーにご来場いただき、ありがとうございます」と挨拶された。

続いて来賓の小川 洋福岡県知事、北橋健治北九州市長、大家敏志参議院議員、秋野公造参議院議員、三原朝彦衆議院議員、ジョンソン・チャン世界獣医師会次期会長の挨拶、中尾正幸福岡県議会議長、戸町武弘北九州市議会議長、中村明彦福岡県議会議員、吉原太郎福岡県議会議員、松尾統章福岡県議会議員、野原隆士福岡県議会議員、松尾嘉三福岡県議会議員、川端耕一福岡県議会議員、原田博史福岡県議会議員、高瀬菜穂子福岡県議会議員、長谷宏一福岡県歯科医師会会長、片山 尹北九州市議会議員、世良俊明北九州市議会議員、佐々木健五北九州市議会議員、渡辺 徹北九州市議会議員、宮崎吉輝北九州市議会議員、香月耕治北九州市議会議員、村上直樹北九州市議会議員、田中 元北九州市議会議員の紹

介があった。

後援省庁、特別協賛者等来賓・登壇者の紹介、祝電披露の後、本会村中志朗副会長、酒井健夫副会長から特別ゲストの篠田麻里子さんに対する一日動物親善大使任命が行われた。続いて日本全薬工業(株)及びメリアル・ジャパン(株)から本会に200万円が贈呈されたセーブペットプロジェクト寄付金贈呈式が行われた後、放鷹義塾及び(有)ファルコンウイングにより、開会宣言のメッセージを携えた鷹が客席の後方から、砂原和文副会長のもとへ飛んで行く演出が行われ、砂原副会長から開会が宣言された。

引き続き、メインステージでは、「鷹匠に会おう!」「人と動物の共通感染症シンポジウム」「犬吉猫吉デジペンゴ大会」「知っていますか? 獣医師の仕事」が開催された。

また、デモンストレーションコーナーでは、北九州市動物愛護フェスティバルの関連行事のほか、中央畜産会による「農場 HACCPって何?」、日本獣医学生協会主催による「あにまる学園祭」が開催された。

展示コーナーでは、本会が獣医学生協会及び家庭動物愛護協会の協力を得て実施した「一日獣医師体験コーナー」に列が絶えず、体験した子どもたちは獣医学生の指導を受けながらの聴診体験に瞳を輝かせていたほか、地元グルメの屋台には名産の食材に舌鼓を打つ来場者があふれていた。このほか、パネルや展示器材等を用いた各企業・団体の活動紹介、農林水産省動物検疫所門司支所、環境省自然環境局総務課動物愛護管理室によるブース展示、さらに「各都道府県市獣医師会コーナー」では東北獣医師会連合会、東京都獣医師会、中部地区獣医師会/岐阜県獣医師会、中国地区獣医師会連合会、九州地区獣医師会連合会が出展し、各地の取組みが紹介されるとともに、飲食物の提供を行ったブースでは各地の畜産物を賞味しようと来場者が列をなしていた。また、北九州市獣医師会の協力により動物救護所が設置され、万に備えた。(株)ピクニカ共和国の協力を得た農場どないすんねん研究会 (NDK) による小動物とのふれあいコーナーには子どもたちの笑顔があふれていた。アトラクションとして、福岡県主催による馬関連の企画が催された。福岡県馬術連盟の協力によるホースセラピーと馬とのふれあい体験には、乗馬を楽しむ子どもたちの柔らかな笑顔があふれ、飯盛宮当流流鏑馬による流鏑馬神事の実演では、間近で見る武者装束の射手と馬の迫力に来場者が盛んに拍手を送っていた。ジャパンケネルクラブ協力によるアジリティ教室では、来場者が飼育動物とともに演技にチャレンジしていた。

すべてのプログラムの最後にメインステージで行われた閉会式では、高橋三男動物感謝デー企画検討委員会委員長・関東地区理事から、閉会挨拶として、本年のイベントが盛会裏に終了することへの御礼が述べられた。続

いて北村直人日本獣医師会顧問・日本獣医師政治連盟委員長から閉会が宣言された。

日本獣医師会では、今後とも、日本獣医師会・獣医師会活動の指針の理念に基づき、本行事等を通じた、広く国民に対する動物との共生の重要性や獣医師の職務等の理解の醸成に努めることとしている。

以下に共催、後援、協賛、協力をいただいた省庁、自治体、企業、団体を改めて紹介し、本年の開催への温かい支援、全国55地方獣医師会、地区獣医師会連合会の出展、協賛等への協力、さらに日本獣医学生協会及び福岡県及び北九州市の職員の皆さま、地元動物看護系専門学校の数多くのボランティアスタッフによる事業運営支援に対して心からお礼申し上げたい。

2016 動物感謝デー in JAPAN 共催・後援・協賛・協力団体

【共催】北九州市

【後援】

農林水産省、環境省、厚生労働省、文部科学省、外務省、観光庁、内閣府食品安全委員会、福岡県、(公社)日本獣医学会、(公社)日本動物病院協会、(一財)動物看護師統一認定機構、(一社)日本動物看護職協会、World Veterinary Association、ヒトと動物の関係学会、AIPO (動物ID普及推進会議)

【特別協賛】

共立製薬(株)、日本全薬工業(株)、ロイヤルカナン ジャポン(株)、メリアル・ジャパン(株)、イオンペット(株)、イーペット少額短期保険(株)、くじゅう飯田高原ボスコ、九州災害時動物救援センター

【協賛・協力】

アニコム損害保険(株)、(株)クレディセゾン、(株)サン・クロレラ、千寿製薬(株)、DSファーマアニマルヘルス(株)、日生研(株)、日本農産工業(株)、(株)日本理工医学研究所、不二精機(株)、(株)マルカン、ユニ・チャーム(株)、ライオン商事(株)、(株)安田システムサービス/損害保険ジャパン日本興亜(株)、(公財)日本小動物医療センター、(公社)全国農業共済協会、(公社)畜産技術協会、(公社)中央畜産会、(公社)日本愛玩動物協会、(公社)Knots、(一財)ペット災害対策推進協会、(一社)家庭動物愛護協会、(一社)ジャパンケネルクラブ、(一社)全国ペット協会、(一社)日本家畜人工授精師協会、(一社)日本小動物獣医師会、(一社)日本養豚開業獣医師協会、(一社)ペットフード協会、(特非)動物愛護社会推進協会、(特非)どうぶつたちの病院、狂犬病臨床研究会、農場どないすんねん研究会 (NDK)、放鷹義塾、日本獣医学生協会、北海道大学、帯広畜産大学、岩手大学、東京大学、東京農工大学、岐阜大学、鳥取大学、山口大学、宮崎大学、鹿児島大学、大阪府立大学、酪農学園大学、北里大学、日本獣医生命科学大学、日本大学、麻布大学、(学)シモゾノ学園/国際動物専門学校・大宮国際動物専門

学校、(学)ヤマザキ学園／ヤマザキ学園大学

【協力地方獣医師会】

(公社)北海道獣医師会、(公社)青森県獣医師会、(一社)岩手県獣医師会、(公社)宮城県獣医師会、(公社)秋田県獣医師会、(公社)山形県獣医師会、(公社)福島県獣医師会、(公社)仙台市獣医師会、(公社)茨城県獣医師会、(公社)栃木県獣医師会、(公社)群馬県獣医師会、(公社)埼玉県獣医師会、(公社)千葉県獣医師会、(公社)神奈川県獣医師会、(公社)山梨県獣医師会、(公社)横浜市獣医師会、(公社)川崎市獣医師会、(公社)東京都獣医師会、(公社)新潟県獣医師会、(公社)富山県獣医師会、(公社)石川県獣医師会、(公社)福井県獣医師会、(一社)長野県獣医師会、(公社)岐阜県獣医師会、(公社)静岡県獣医師会、

(公社)愛知県獣医師会、(公社)名古屋市獣医師会、(公社)三重県獣医師会、(公社)滋賀県獣医師会、(公社)京都府獣医師会、(公社)大阪府獣医師会、(一社)兵庫県獣医師会、(公社)奈良県獣医師会、(公社)和歌山県獣医師会、(公社)京都市獣医師会、(公社)大阪市獣医師会、(公社)神戸市獣医師会、(公社)鳥取県獣医師会、(公社)島根県獣医師会、(公社)岡山県獣医師会、(公社)広島県獣医師会、(公社)山口県獣医師会、(公社)徳島県獣医師会、(公社)香川県獣医師会、(公社)愛媛県獣医師会、(公社)高知県獣医師会、(公社)福岡県獣医師会、(公社)佐賀県獣医師会、(公社)長崎県獣医師会、(一社)熊本県獣医師会、(公社)大分県獣医師会、(一社)宮崎県獣医師会、(公社)鹿児島県獣医師会、(公社)沖縄県獣医師会、(公社)北九州市獣医師会



図1 主催者代表挨拶をする藏内会長



図2 来賓挨拶をする小川 洋福岡県知事



図3 来賓挨拶をする北橋健治北九州市長



図4 自民党獣医師問題議員連盟麻生太郎会長及び森英介幹事長の名代として来賓挨拶をする大家敏志参議院議員



図5 公明党獣医師問題議員懇話会齊藤鉄夫会長の名代として来賓挨拶をする秋野公造参議院議員



図6 来賓挨拶をする三原朝彦衆議院議員



図7 村中副会長、酒井副会長から一日動物親善大使の任命を受けた篠田麻里子さん



図8 セーブペットプロジェクト寄付金贈呈式(左から日本全薬工業(株)黒田英一郎取締役、メリアル・ジャパン(株)永田 正代表取締役社長、本会藏内会長)



図9 開会宣言を運ぶハリスホークを待ち受ける砂原副会長



図10 一日獣医師体験コーナーで獣医学生の指導を受けながら犬の心音を聴く児童



図11 「知っていますか？ 獣医師の仕事」ステージの様子



図12 乗馬体験をする参加者



図13 流鏝馬実演



図14 アジリティ教室で演技体験する参加者の愛犬

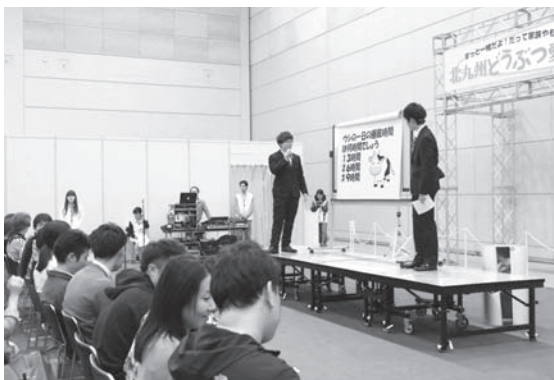


図15 あにまる学園祭企画（獣医学生協会）



図16 閉会の挨拶をする高橋三男動物感謝デー企画検討委員会委員長・日本獣医師会関東地区理事



図17 閉会宣言をする北村直人日本獣医師会顧問・日本獣医師会政治連盟委員長